

／ ライフケアサポート情報誌 ／

# こもれび

K O M O R E B I



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 鹿児島県済生会  
済生会鹿児島地域福祉センター  
〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号  
TEL.099-284-8250 FAX.099-284-8252  
□ <http://www.saiseikai-kg.jp>

2016

vol.14

新年号



## 年頭のごあいさつ

皆様、明けましておめでとうございます。

旧年中済生会に寄せていただきました皆様のご厚情とご支援に深く感謝申し上げます。

済生会鹿児島福祉センターでは入所、通所、在宅訪問とさまざまなかたちでの介護福祉サービスをご利用いただいている皆様の笑顔が増えることを目指して職員一同日々の職務に頑張っております。

よく利用者様から済生会の職員・スタッフの対応にお褒めの言葉をいただきますが、職員のこの頑張りは、根底にある済生会の精神は勿論ですが、利用者の皆様方の笑顔や安心された様子や感謝の言葉に鼓舞されています。

しかしながら、今後の済生会実践論では、2つの点で新たな進化が必要と考えられます。

一つ目は済生会の原点ともいえる「済生」の現代的実践です。

済生会において「済生」とは「生命を救済する」という意味で使われています。

「生命」とは何かということについて、古代から多くの人々が様々に論じてきました。辞典には、「生命とは生物を無生物ではなく生物として存在させる本源」と定義され、生物を物質の一形態として発生的にとらえる機械論的考え方と、これを実体としてみる生氣論的考え方とが伝統的に対立してきました。

現代生物学では「代謝に代表される自己の維持、増殖、自己と外界との隔離等様々な現象の連続性をもって生命とする」身体論の場合が多いが、一方で「生き物が生きた状態であるという状態そのものを生命と呼ぶ」とし、「生きた状態は目に見えない何かがある状態であるとして、その宿っているものを「生命」「命」「魂」等と呼ぶ」とし、現在でも広くその様な用法で使われています。

近年WHOが、健康とは「健康とは身体的、精神的、スピリチュアリティ的、社会的に健全な動態をいう」と定義しつつあることとあわせると、「生命を救済する」ことは、「人間を肉体のみならず心や魂を持つ社会的生命体として包括的に捉え、その人間丸ごとを救済する」と考えられます。

従って、生命を救済するためには、手術や薬物療法といった肉体に働きかける医療や食事・入浴等身体的介護のみでなく、寂しい孤独な心や社会的疎外感や魂の渇きに働きかけ、それらを癒す全人的ケアとその地域社会づくりが重要です。

済生会の使命である「生命を救う」手立てに通じるものは、現代に於いては個人のレベルにおける「全人的ケア」と、「地域包括ケアのしくみづくり」と「共に生きる地域づくり」であるといえます。

先日グループホームを設置している武岡団地の秋祭りに済生会もブースを出しました。気軽に立ち寄れるカフェ方式で、種々の相談窓口、血圧測定やマッサージ、温泉水の足湯等、地元地域の多くの方々が利用され、済生会の認知度向上に貢献しました。



グループホームの認知症の利用者様も職員とともに、祭りの出店や催しを楽しまれ、地域の方々と交流し、飛び切りの笑顔で生き生きとひと時をすごされました。

そのお姿に、ICF国際生活機能分類で、障害を有した場合の生活モデルとされている「身体機能・活動機能・参加機能」の生活機能を、特に全人的生活機能を支援することの重要性を再確認しました。

どのような状態になっても住み慣れた地域で自分らしく全人的生活機能を果たすことのできる地域包括ケアのしくみづくりと地域づくりに地域の皆様方とともに済生会の力を発揮したいと思います。

今年も一層よろしく願いいたします。



この1年の皆様のご多幸とご健勝を心より祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人 済生会支部  
鹿児島県済生会 支部長  
済生会鹿児島地域福祉センター  
所長 吉田 紀子



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新たな気持ちでお健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は何かとお世話様になりましてありがとうございました。

地域福祉センターは、平成9年に武岡の地に開設以来今日まで、多くの方々の支援を戴きながら地域の皆様の要請に応えられる組織づくりに努めて参りました。

済生会創立の精神である「救療済生」の旗の下に結集した恩賜財団済生会の一員として、済生会の使命である人々の「いのち」を守り、幸せの向上に貢献する活動を積極的に推進致します。今後とも、地域の皆様方に期待される施設となるよう精進して参りますので、本年も引き続きご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



済生会鹿児島地域福祉センター  
副所長 向井 康子

# 笑門来福

笑う門には福来る

## 特別養護老人ホーム 高喜苑



2階：楽しく、笑顔と優しさを忘れずに



医務室：今年も「一生懸命！」頑張ります。



3階：チームワークで入居者の自分らしさに寄り添えるように支援します。



相談員室：皆様のお役に立てるよう笑顔で頑張ります。



事務室



# 想いをかたちに

シルバーフラット武岡台

あけましておめでとうございます。

ケアハウスでは「あなたの夢を叶えますプロジェクト」を始動します。

わたしたちはあなたの大切な思い出の再現や夢の実現に向けて支援をさせていただきます。これからも楽しく、穏やかに過ごしていただけるようお手伝いをさせていただきますので、今後ともよろしく願いいたします。



# 寄り添いながら

なでしこの杜

明けましておめでとうございます。

なでしこの杜がオープンして、手探りの1年が過ぎました。

入居者様お一人おひとりの想いに寄り添いながら、皆様に満足のいただけるサービスの提供を目指して職員の質の向上に努めて参ります。本年もよろしくお祈りいたします。



## 和顔愛語

グループホーム武岡ハイランド

明けましておめでとうございます。

いつもGH武岡ハイランドの運営・活動にご協力いただきありがとうございます。

「和顔 愛語(わげんあいご)」和らぎの顔といたわりの言葉で穏やかで温かい空間づくりを目指します。  
今年もよろしくお願ひ致します。



## 和気藹々

グループホーム武岡五丁目

明けましておめでとうございます。

今年もよろしくお願ひ申し上げます。

ホームではご家族参加の催しを企画し、ご家族と和やかで、おだやかな、和気藹々(あいあい)とした時を過ごしていただける機会を増やしながら絆を深めて参ります。

また、地域での行事への参加を進め今年「鹿児島市武岡に暮らす」を目標に、生活をご支援させていただきたいと思っています。



## 尊尚親愛

今年もよろしくお願いいたします。

旧年中は、武岡台デイサービスセンターをご利用いただき、感謝しております。

利用者様と一緒に過ごせた一年間は、職員にとってもかけがえのない時間で、特に「そうめん流し行事」や「運動会」、「陶芸教室」など、楽しい時間を過ごす事が出来ました。

親愛(敬い親しみ愛すること)のころをもって、利用者様に寄り添い、頼りにしていただける事業所になるよう努力して参りたいと考えております。

武岡台デイサービスセンター



## 尊厳の尊重

新春のお慶びを申し上げます。

私たちは、ご家族と連携しながら一人ひとりの利用者が尊厳を持って暮らせるよう支援することによって、その人らしさが生かされるケアの実践を心掛けています。

デイサービスセンター高喜苑



## 我が家が一番

新年あけましておめでとうございます。

訪問看護は看護師がご自宅にお伺いします。地域の皆様に、在宅医療・訪問看護の利用でご自宅での療養生活の可能性が広がることを知っていただき、住み慣れた街でご自分らしい生活を続けていけるようサポートさせていただきます。

今年も更なる躍進に向けてスタッフ一同力を合わせて参りますのでご支援いただきますようよろしくお願い致します。

### なでしこ訪問看護ステーション



## 真心をこめて



### 訪問入浴センター高喜苑

明けましておめでとうございます。

「訪問入浴センター高喜苑」は入浴が困難な利用者様のご自宅に伺い、入浴サービスを提供させていただきます。

今後とも、利用者様やご家族に喜んでいただけるよう真心を込めたサービスを提供させていただきます。

# 誠心誠意

## ホームヘルプステーション高喜苑

ご利用者様、ご家族様笑顔で新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

今年も誠心誠意、心のこもった質の高い介護サービスを提供できるよう努力して参ります。

本年もよろしくお願い致します。



# 切磋琢磨

## 指定居宅介護支援センター高喜苑

新春のお慶びを申し上げます。

私共、ケアマネージャーは、ケアマネジメントの専門職として、互いに切磋琢磨しながら、住み慣れた地域で生活ができるようお手伝いをさせていただきます。

これからもよろしくお願い致します。



# 懇切丁寧

## 訪問給食センター高喜苑

細やかな心配りと心を込めて、これからも美味しいお弁当を笑顔と一緒にお届けします。今年もよろしくお願い致します。



## 武岡団地の秋祭りに参加しました。

### ▶ 武岡台デイサービスセンター

11月23日、勤労感謝の日に第4回たけおか秋祭りが開催されました。

武岡台デイサービスセンターは、マッサージ師と理学療法士の2名で、おじいちゃん、おばあちゃんや子育てに奮闘中のお母さんなど、多くの方々にマッサージを受けていただきました。「肩が軽くなった」「気持ちよかった」などの嬉しい感想をいただき、私たちもあたたかい気持ちをいただきました。秋祭りには初めての参加でしたが、これからも地域の行事などに参加させていただきながら、交流を深めさせていただきたいと思います。



## 「あなたの夢を叶えますプロジェクト」始動!

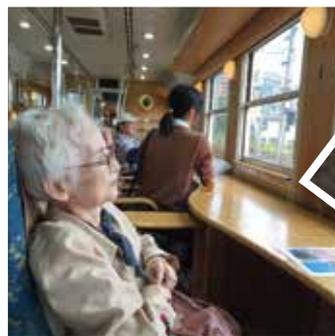
### ▶ シルバーフラット武岡台

ケアハウスでは、「あなたの夢を叶えますプロジェクト」がスタートしました。

初となる今回は、JR九州が指宿枕崎線で運行している観光特急列車『指宿のたまて箱』に乗ってみたいとのご要望にお応えして、企画やチケットの手配を施設スタッフが代行し、訪問介護事業所の馴染みのヘルパーが同行してサポートしました。

「景色は素晴らしかった。あいにくの曇り空で空と海の色が一緒だったのが少し残念」「今度は、オレンジ鉄道に乗って東シナ海に沈む夕日を見に行きたい」とのご感想をいただきました。

このプロジェクトは入居様がやってみたいことを施設のスタッフが他のサービス事業所等と連携して実現しようというものです。ケアハウスでは、これからも入居様のご要望があればこのプロジェクトを推進していきたいと考えています。



## 炭谷理事長が来鹿されました。

11月11日、炭谷茂理事長が、地域福祉センターが運営する新設の「なでしこの杜」、「グループホーム武岡ハイランド」などの施設、事業所と鹿児島病院を視察されました。

視察の後、理事長は幹部職員に向けて、「福祉センターは、地域包括システムのつなぎの部分を作っていく役割を担っている。済生会の使命である生活困窮者への援助についても積極的な推進が望まれる。将来に向けて地域の要請に対応できる体制が整いつつあるので、福祉と医療連携のもとにこの体制を活用してほしい。今後とも人権を守り、入居者本位の運営をすすめて、済生会を目標にすべしと言われるような組織づくりを目指していただきたい」と激励のあいさつをいただきました。



## 済生会物語〈その九〉

### 最後の言上

昭和二十一年十二月三日、武井群嗣理事長は昭和二十年年度の年度報告のために皇居内の一室、拝謁室にいた。済生会の年度報告は歴代の会長が宮中に伺候(参内)して行ってきたもので、明治四十五年以来恒例となっている。

この恒例の行事もおそらくは本日をもってその最終回となるであろう。皇后様が女官を従えてお出ましになり、和やかな微笑を浮かべて静かに御座所にお着きになった。

「謹んで恩賜財団済生会の現状を言上仕ります」報告はここから始まる。

「済生会は本年をもちまして、創立三十五周年を迎えました。その間皇志の深いご恩顧と、政府並びに民間有志の援助により、全国にわたって施業救療事業を営んでまいりました」皇后様は軽くお頷きになられる。

済生会の事業、診療方法、戦災による罹災状況などについて言上し、皇后

様のご下問やそれに対するお答えなど二時間に近い拝謁を終了した。

「ご苦勞様でした・・・」

皇后様は優しく武井理事長の勞をおねぎらいになり、次のお言葉を述べられた。

「済生会は、これからもいろいろな自由なことが多いと思いますが、二同心を合わせて医療に悩む人々のお世話をしてあげてください」

そして一言、さりげなくお付け加えになった。

「聖上も、済生会のことをご心配になつていられます」

武井は電流に打たれたようにぼつと立ち上がり、次いで深々と頭を下げた。

当時の済生会総裁は、終戦直後の八月二十一日に第三代総裁に就任戴いた若きプリンス高松宮宣仁親王殿下である。

(「済生会物語」(堀賢次著)から転載)

## 〈基本理念〉 「救療済生」の済生会精神に則り、福祉に貢献する。

### 〈基本方針〉

1. 私達は、利用者から信頼され、満足していただける介護・福祉を目指して、常に利用者の立場に立ち、利用者の気持ちになって介護を行います。
2. 私達は、利用者の権利を尊重し、その意思に添えるよう努めます。
3. 私達は、常に利用者の安全に気を配り、安心して介護が受けられるように努力します。
4. 私達は、最新の介護知識や介護技術の習得に研鑽します。
5. 私達は、地域の人々と交流を図り、人々が求めている要望に応えられるよう努力します。

### 〈利用者の権利〉

1. その人格を尊重される権利があります。
2. 社会的地位・国籍・人種・宗教・性別などにより差別を受けることなく、公正・平等に介護を受ける権利があります。
3. 自分が受けている介護に関するすべての情報について知る権利があります。
4. 自分に関するすべての個人的情報を守ってもらう権利があります。

#### 特別養護老人ホーム 高喜苑

〔介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業所〕

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号

**TEL** 099-284-8253 **FAX** 099-284-8252

#### シルバーフラット武岡台

〔軽費老人ホーム／ケアハウス〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

**TEL** 099-283-6870 **FAX** 099-283-6871

#### 済生会なでこの杜

〔サービス付き高齢者向け住宅〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

**TEL** 099-202-0710 **FAX** 099-283-4733

#### 指定居宅介護支援センター高喜苑

〔指定居宅介護支援事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

**TEL** 099-283-4737 **FAX** 099-283-4733

#### グループホーム武岡5丁目

〔認知症対応型共同生活介護事業所〕

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目16番23号

**TEL** 099-282-6081 **FAX** 099-283-3533

#### グループホーム武岡ハイランド

〔認知症対応型共同生活介護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

**TEL** 099-283-7231 **FAX** 099-283-7232

#### 武岡台デイサービスセンター

〔指定通所介護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

**TEL** 099-283-6880 **FAX** 099-283-6872

#### デイサービスセンター 高喜苑

〔認知症対応型通所介護事業所〕

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号

**TEL** 099-284-8254 **FAX** 099-284-8255

#### なでこ訪問看護ステーション

〔指定訪問看護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

**TEL** 099-281-9292 **FAX** 099-283-4733

#### ホームヘルプステーション 高喜苑

〔指定訪問介護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

**TEL** 099-283-6875 **FAX** 099-283-6876

#### 済生会サポートセンターなでこ

〔定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

**TEL** 099-283-6875 **FAX** 099-283-6876

#### 訪問入浴センター 高喜苑

〔指定訪問入浴介護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

**TEL** 099-283-4731 **FAX** 099-283-4733

#### 訪問給食センター 高喜苑

〔鹿児島市委託事業所・配食事業〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

**TEL** 099-283-4730 **FAX** 099-283-4732

#### 鹿児島県済生会

〔支部〕

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号

**TEL** 099-210-5460 **FAX** 099-210-5560

## 編集 後記

謹賀新年 よき新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。初詣にお出掛けになりましたか。我が家では正月2日にうっがんさぁ(氏神様)にお詣りしてから三社まわるのが習わしです。「おさいせん 百円玉一つ ぼんと投げて 手を合わす お願いごとの多いこと」(相田みつを)。皆様の願いがたくさん叶えられますように…(F)